

平成22年度「ふるさと信州寄付金」の受付結果及び活用事業について

○ 件数及び金額

- ・ 長野県への寄付 40件 6,567,229円

○ 長野県への寄付金の使途希望別内訳

①みんなで支える ふるさとの森林づくり	818,653円
②美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	925,927円
③魅力ある観光地づくり	38,654円
その他	921,000円
希望なし	3,862,995円
合計	6,567,229円

※ 「希望なし」として受け付けた寄付金は、①～③の事業に振り分けました。

※ 「その他」の活用希望は、県立病院、高齢者福祉、児童福祉施設、児童養護施設、障害者福祉施設への活用です。

○ 活用事業の内容について（各事業の財源の一部として活用しました）

I みんなで支える ふるさとの森林づくり	【寄付金の活用額 2,092千円】
○森林づくり事業 「緑の社会資本」である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、「長野県森林づくり県民税」とあわせ寄付金を活用しながら、間伐を中心に森林づくりを実施しました。	
II 美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	【寄付金の活用額 2,240千円】
①信州の登山道リフレッシュ事業 山岳環境の保全や登山者の安全を確保するため、管理者が不明確な登山道の日常的維持・補修を、登山者、民間企業からの協力金を活用して、山小屋等関係者と県が連携して実施しました。	
②-1 景観育成支援事業 県下各地において、景観に関する活動に中心的な役割を果たす人材を「地域景観リーダー」として登録し、研修会の開催により地域の景観に関する取り組みを支援しました。	
②-2 地域景観育成事業 県下各地における景観に関する様々な活動の支援を通じて、景観の保全・育成に向けた取り組みの活性化などに繋がっています。また、良好な景観の阻害要因の解消などに必要な経費に対して助成を行いました。	
III 魅力ある観光地づくり	【寄付金の活用額 1,314千円】
○温泉地・スキー場地区再生モデル事業 長野県が全国に誇る温泉地やスキー場地区の観光地の魅力向上を図るため、地域の観光事業者、関係団体及び地域住民等と連携・協働して観光地の再生に意欲的に取り組む市町村を支援しました。	
○ その他の活用事業	【寄付金の活用額 921千円】
長野県が提示する上記3つの取組以外にも、「その他」の活用希望として、「県立病院」、「高齢者福祉」、「児童福祉施設」、「児童養護施設」、「障害者福祉施設」に対して寄付のお申し出がありました。 それぞれの施設の設備整備の一部に活用いたしました。	